

世界はひとつ

163号

2025.11



- 共に未来を造る～国際たくみアカデミーで学ぶ確かな技術～
- 「いのち」が「命のビザ」がつながる岐阜・リトアニア交流事業
- 「いのち」を守ろう～災害のときの持ち出しバッグ編～

岐阜県立国際たくみアカデミー（美濃加茂市）
生産技術科卒業研究（ロボットプログラミング）の様子



（公財）岐阜県国際交流センターGIFU INTERNATIONAL CENTER (GIC)

2025年11月1日発行（年3回発行 7月、11月、2月）

共に未来を造る～国際たくみアカデミーで学ぶ確かな技術～

岐阜県立国際たくみアカデミーとは？

岐阜県立国際たくみアカデミー（以下、たくみアカデミー）は、岐阜県が設置・運営している職業訓練施設です。岐阜県内産業の人材づくりを支える2つの学校に分かれ、5つのコースがあります。

職業能力開発短期大学校

・生産技術科(2年間) ・建築科(2年間)

職業能力開発校

・設備システム科(1年間) ・住宅建築科(1年間)
・自動車エンジニア科(2年間)

少人数制、充実した設備、きめ細やかな学びと、授業料の負担が少ないという特長に魅力を感じて、入学した学生が多くいます。

たくみアカデミー生産技術科には、日本人だけでなく、留学生も在籍しています。現在、モノづくりのエンジニアを目指し、留学生が日々学んでいます。



岐阜県立国際たくみアカデミー（校舎）

学生インタビュー

ヨマーシさん

（2年生 スリランカ・21歳）



2022年4月に来日し、岐阜市内の日本語学校で2年間日本語を勉強しました。たくみアカデミーのことは、オープンキャンパスで知りました。高校で数学や物理を学んでいたこともあり、自分の興味と一致したため、たくみアカデミーに入学を決めました。

将来的に日本での就職を希望していたので、日本人のクラスメイトと一緒に学べることはとても貴重な体験であること、そして先生方の手厚いサポートを受けられるので、たくみアカデミーを選んで本当に良かったと思っています。

来日したばかりの頃は日本語がわからず、アルバイトを探すことも苦労しましたが、今はコンビニエンスストアでのアルバイトと勉強をがんばって両立しています。来年3月に卒業予定ですが、岐阜県内の企業でインターンシップを経験し、その企業から内定をいただいています。たくみアカデミーで学んだことを活かして、金属の研磨やデザインの分野で活躍できたいと思っています。

船戸 悠大さん

（2年生 日本・19歳）



たくみアカデミーは、進路に迷っていた時に高校の先生から紹介してもらいました。入学したら留学生が多く、年齢も様々であり、10歳以上も離れているクラスメイトもいたので、どう接すればいいかと最初は戸惑いました。しかし、実際に話してみると、留学生の日本語レベルは想像以上に高く、コミュニケーションもスムーズで、いい意味で意外でした。今は、彼らが母国を離れて日本で頑張っていることがよく分かります。将来のことを真剣に考えている人が多く、私自身、他の国についてももっと知りたいという気持ちが強くなりました。私はベトナム人技能実習生が多い企業に内定をいただいているが、様々な国から来ているクラスメイトと学んだ経験を積むことができたので、外国の方々と一緒に働くことに抵抗はありません。技術だけでなく、コミュニケーション能力も身につけられたことは、たくみアカデミーでの大きな成果だと思っています。

トンモイさん

（1年生 バングラデシュ・23歳）



母国で8か月間日本語を勉強して日本語能力試験（JLPT）N5を取得し、2023年10月に来日しました。名古屋市内の日本語学校で1年半学んだ後、その後の、今年の4月にたくみアカデミーに入学し、現在はN2も取得しています。

日本語学校の紹介でオープンキャンパスに参加したことが、入学のきっかけです。エンジニアの勉強ができること、就職率100%であること、そして日本語の学習も続けられる点に魅力を感じました。日本人のクラスメイトとも仲が良く、分からない日本語や様々なことを気軽に相談できています。また、たくみアカデミーの先生方はとても優しく、特に担任の先生は信頼できる存在です。

コンビニエンスストアでのアルバイトと勉強の両立は大変で、プレッシャーに感じることもありますが、勉強はとても楽しく、最後まで頑張りたいです。将来はCADや電気設計の仕事に就きたいと考えています。ちなみに、バングラデシュより日本のほうが暑いです！

指導部長メッセージ

加藤 款哉さん

（たくみアカデミー・指導部長兼生産技術科長）



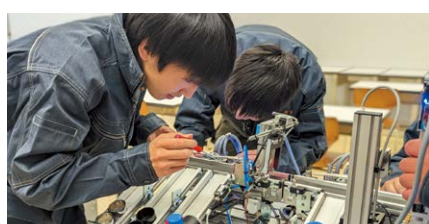
たくみアカデミーのオープンキャンパスには、多くの留学生に関心を持ってもらっており、口コミで東海エリア以外からもたくさんの方に参加してもらっています。

就職については、インターンシップの段階で、企業とのマッチングに気を配っています。学生の85%がインターンシップ先の企業に就職、就職率は100%を達成しています。さらに就職先のほぼ100%が岐阜県内であり、就職3年後の定着率も70%となっています。

少子化による定員割れをきっかけに、留学生を優秀なエンジニアとして育成し、就職の道筋を広げました。彼らの活躍が県内の製造業に活気をもたらしていると感じています。実際に接すると意識が高く、「日本で学んだことを日本で活かしたい」と強く願っている留学生が多いです。

私たちは、学生が手に職をつけ、確かな技術と専門知識を身につけることを何より大切に、学んだ技術がすぐに現場で活かせるように指導しています。

私たちは岐阜県のモノづくり（製造業）に貢献してくれる人材が増えることを心から願っています。モノづくり業界に少しでも興味をお持ちいただけたら、ぜひ一度オープンキャンパスにお越しください。



生産技術科メカトロニクス実習風景

岐阜県立国際たくみアカデミーの詳細な情報は、公式ウェブサイト、Instagramをご覧ください。

ウェブサイト



Instagram



@TAKUMI_ACADEMY

たくみアカデミーで留学生向け支援講座を行いました

岐阜県国際交流センターでは、在住外国人が円滑に日本での生活を送れるように支援するため、たくみアカデミーの留学生向けにライフプラン・就労支援講座を実施しました。受講した留学生から、日本の社会保障制度や働く上での心構えについて多くの質問が寄せられ、関心の高さが伺えました。





「命のビザ」がつなぐ絆 岐阜・リトアニア交流事業

岐阜県では、「命のビザ」の発給で知られる県出身の外交官・杉原千畝氏を縁に、リトアニアと様々な分野で交流を進めています。8月22日から9月19日にかけて、歴史、文化、食、工芸、観光など多彩な分野でリトアニアの魅力を発信するイベント「リトアニアNOW2025」を開催しました！

リトアニアNOW2025 オープニングイベント (8/22ぎふ清流文化プラザ)

大阪・関西万博出演のため来日したリトアニアのフォークダンス・アンサンブル「イエワラス」が岐阜公演を行い、リトアニアの伝統的な歌と踊りを披露しました。



リトアニア文化教室 (9/7土岐市文化プラザ、9/13アクティブG)

リトアニア出身の岐阜県国際交流員ロベルタ・グヴァイズディカイターさんが、オーガニック先進国・リトアニアの食、文化、生活について紹介しました。参加者からは、「リトアニアに行ってみたい」「伝統料理を味わってみたい、作ってみたい」といった声が聞かれました。



土岐市文化プラザでの文化教室の様子

教えて、ロベルタさん

リトアニアってどんなところ？

リトアニアは豊かな自然に恵まれており、広大な森や平原、そしてユネスコ世界遺産にも登録されているクルシュ砂州（写真参照）のような美しい海岸線や砂丘が特徴です。

食文化も魅力的で、新鮮な野菜やライ麦パンが美味しく、近年は健康的な食生活を意識した有機農業が広がっています。

また、リトアニアでは環境意識が高まっており、エネルギー自給を目指して風力発電所が増加しています。農業の分野でも、多くの農家が環境に配慮し、農業をなるべく使わずに作物を育てています。



クルシュ砂州（※駐日リトアニア共和国大使館）

国際交流員とは…

国際交流員(CIR:Coordinator for International Relations)は、ちほうこうとうたいのんしゅうのつうしきほんやくぎょうむをばしめ、がっこうとうはけんがくところざこくさいりかいふかこうざこうりゅうきかくじしし講座や国際理解を深める講座、交流イベントなどを企画・実施しています。

岐阜県庁

国際交流員の紹介



ロベルタ グヴァイズディカイター
【リトアニア】

岐阜県国際交流課で勤務しているロベルタです。今年8月にリトアニアから岐阜県にまいりました。北海道大学大学院で国際広報メディアを専攻し、修士課程で学んだことを活かしつつ、リトアニアと岐阜の架け橋となれるよう努めたいと思います。岐阜市に住み始めてまだ1か月ほどですが、現時点で最も印象に残っているのは、畑の向こうに流る夕日の風景や、地元の人々がすぐに気さくに声をかけてくれる神田町（岐阜市）の雰囲気です。

岐阜県国際交流センター 国際交流員に聞いてみた！

「肌寒い季節のエピソード」

肌寒さを感じる季節になりました。

今回は、国際交流員のみなさんに「肌寒い季節のエピソード」をテーマに、それぞれの国ならではの秋冬のアイテムや過ごし方などを聞いてみました。



紀悠交流員(中国)

秋が訪れ、涼しい季節になりました。私の故郷、中国広東省の佛山市では、毎年11月に「秋色（中国語読み）」と呼ばれる提灯祭りが行われ、秋の美りを祝います。祭りでは、色とりどりの提灯や大きな山車が街を練り歩き、夜を明るく照らし出します。昨年の秋は、友達と一緒に「うさぎ提灯」や「金魚提灯」を買い、秋の夜を散策しながら秋色の華やかな雰囲気を楽しんでいました。今年は、岐阜で知り合った新しい友達と一緒に、岐阜の秋を感じ、楽しい思い出を作りたいと思っています！



ラファエル交流員(イギリス)

私の故郷はポータスヘッド(Portishead)という町で、有名なバンドの名前の由来にもなっています。その町では11月の終わりから1月初めにかけて、ハイストリートが色とりどりのクリスマスイルミネーションで飾られます。子どもの頃、真っ暗な冬の朝にバスを待っていると、イルミネーションの光が闇に映えて、長くて寒い季節を明るく楽しいものにしてくれました。今年は自宅にクリスマスライトを飾って、あの温かい雰囲気を再現してみようと思います。



ヒエン交流員(ベトナム)

冬の必需品といえば「ひとはだ」でしょう。骨にしみる寒さ、家族や友達と一緒に心強く感じます。独身の若者は「恋人が欲しい!」と叫びたくなる季節。だからこそ熱々の鍋を囲んでワイワイ過ごす時間は幸せです。夜はベッドにこもり、浴室では暖房ランプに感謝。バイクには手袋、雨の日は分厚いカッパ。寂しければ「鍋行こうぜ」と誘い、バイクの後方で友達にしがみつきながらタイ湖を一周すれば、寒さも笑いに変わり、充実した冬になるのです。



グスタボ交流員(ブラジル)

どんな季節でもホットコーヒーを嗜むブラジル人からすれば、寒い日の朝は、焼き立てのチーズパン(ボン・デ・ケージョ)とホットコーヒーが似合います。ブラジル国土のほとんどは冬がマイルドウィンターで、雪が降る岐阜の冬とは大違い! 最初はそのギャップに慣れるのが大変でした。しかも、ブラジルは南半球にあるため、10月から夏に向かってどんどん暑くなります。これから日本ではコートと帽子が手放せなくなるのに、家族や友人は半袖で夏を満喫中。そう思うと少し羨ましい気持ちです。

岐阜県国際交流センター 国際交流員の紹介



ラファエル パーカー
【イギリス】

イギリス出身のラファエルと申します。今年の8月から岐阜県国際交流センターで国際交流員として勤務し、翻訳・通訳やイギリス文化の紹介をしています。岐阜に来たばかりですが、冬の高山を訪れるのを楽しみにしています。雪の多い場所で過ごすのは初めてなので、伝統的な町並みの中で探索した一日の後、ゆったり過ごせることを期待しています。まだ日本の生活に慣れない部分もありますが、皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

外国人の皆さんのための相談窓口

当センターでは、さまざまな相談を受け付けています。税金、住まい、教育、福祉など、日常生活で困ったことはありませんか? 15言語以上で相談できますので、どうぞ気軽にご利用ください。

対象 岐阜県在住の外国人

電話相談 15言語以上

対面相談 英語、中国語、ポルトガル語、フィリピン語、ベトナム語



TEL: 058-263-8066

受付時間: 9:30~16:30(月~金曜日)

【賛助会員募集中】 詳しくは当センターまでお問い合わせください。

当センターの活動を支援してくださる個人・団体を募集します。

年会費 個人 1口 3,000円 団体 1口 5,000円

特典 情報誌「世界はひとつ」の送付、主催イベントの参加費割引 など

「いのち」をまもろう

～災害のときの持ち出しバッグ編～

災害が起きたら、安全な場所に逃げなければいけません。

災害が起きる前に、持っていくものをリュック（バックパック）に入れておき、すぐに持ち出すことができるようにしましょう。

災害のときの持ち出しバッグ（避難するときには持っていくといいもの）

- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|--|--|
| ☐ 水 | ☐ 食品（3日分） | ☐ 防災用ヘルメット | ☐ 服、下着 |
| ☐ レインウェア | ☐ ひもなしの靴 | ☐ 軍手（手袋） | ☐ 懐中電灯（ハンディライト） |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ 予備電池・バッテリー | ☐ ライター・ろうそく | ☐ タオル |
| ☐ 洗面用具 | ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉 | ☐ 石けん・ハンドソープ | ☐ ウェットティッシュ |
| ☐ マスク | ☐ 手指消毒用アルコール | ☐ 救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など） | |
| ☐ 体温計 | ☐ 毛布（ブランケット） | ☐ 使い捨てカイロ | ☐ ペン・ノート |

災害のときに一緒に持ち出そう！！

- ☐ 貴重品・大事なものの（現金、銀行通帳、在留カード、パスポート、運転免許証、健康保険証、病院の診察券、お薬手帳、マイナンバーカードなど）

子どもがいる家庭の準備

- | | | |
|---|-----------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ ミルク（キューブタイプ） | ☐ 使い捨て哺乳瓶 | ☐ 離乳食（ベビーフード） |
| ☐ 携帯カトラリー（スプーン、フォークなど） | ☐ 子ども用紙オムツ | ☐ お尻ふき |
| ☐ 携帯用お尻洗浄機 | ☐ ネックライト | ☐ 抱っこひも |
| | | ☐ 子どもの靴 |

女性の準備

- | | | |
|--|----------------------------------|--|
| ☐ 生理用品 | ☐ おりものシート | ☐ サニタリーショーツ |
| ☐ 中身の见えないごみ袋（色付きのごみ袋） | | ☐ 防犯ブザー / ホイッスル |

高齢者がいる家庭の準備

- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|
| ☐ 大人用紙パンツ | ☐ 杖 | ☐ 補聴器 | ☐ 介護食 |
| ☐ 入れ歯・洗浄剤 | ☐ 吸水パッド | ☐ デリケートゾーンの洗浄剤 | |
| ☐ 普段飲んでいる薬 | ☐ お薬手帳のコピー | | |

いつも準備しておくもの（持ち出しバッグとは別に、お家に準備しておくもの）

- ☐ 食料や水（できれば1週間分、保存期間の長いもの）
- ☐ 生活用品（ティッシュ、トイレトペーパー、ラップ、ごみ袋、ポリタンク、携帯トイレなど）

首相官邸のホームページ 災害の「備え」チェックリストをもとに作成 <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html>

岐阜県国際交流センターのFacebookで災害情報を発信しています。ぜひフォローしてください！



にほんご 日本語



えいご 英語



ちゅうごくご 中国語



ポルトガル語



フィリピン語



ベトナム語

岐阜日仏協会

協会42年のあゆみ

会長：飯塚 保江

私も岐阜日仏協会の出発は、1983(昭和58)年7月のパリ祭に遡ります。日仏の文化的友好親善を目的に、フランスをこよなく愛する有志が集まり発足しました。

NGOの会は、その会に何らかの魅力を感じて入会する会員と、それを運営するメンバーがほどよく存在しない限り、存続は困難かと思えます。幸い当協会は、どちらにも恵まれ、活動範囲を広げてきました。仏人による講演会、ペタンク大会、パリ祭、ホームステイ受け入れ、ワイン・チーズ試飲試食会、シャンソンコンサート、クリスマスダンスパーティ、仏映画会、仏絵画展、仏菓子・料理講習会、ボランティア通訳等、多くの活動を展開してきました。

1997年「フランスにおける日本年」に、「ぎふフェア・イン・フランス」をバザンソン市で開催し、翌98年「日本におけるフランス年」には日仏児童・生徒交流の中で、文化交流に加え、人的交流を中心とした活動が盛んになりました。コロナ禍でも、これまで交流してきた日仏関係者とZoom会議を通じて

再会し、互いの無事を確認し、交流継続を誓い合いました。設立40周年記念には日仏アーティスト交流展を開催、アフターコロナからは岐阜に再来日する仏人も増え、この夏も昨年同様、来岐の仏人と鵜飼観覧で友情を深めました。

今年の冬は、交流先のバザンソン市出身の女性アーティストが、美濃和紙の製造研修に長期滞在する予定です。世界平和は、身近な人との融和世界を築くことから始まると考えます。岐阜日仏協会は今後も官民一体となって、地域の国際交流及び国際協力に貢献できる民間団体としての人的交流活動を進めていくと考えています。



鵜飼観覧での記念撮影(2024年7月)

問合せ

岐阜日仏協会 TEL/FAX : 058-235-7253 E-mail : i-grec@mub.biglobe.ne.jp



岐阜デスクからのお知らせ

JICA海外協力隊が見た世界 ～思い出の写真～



ヨルダン料理「マンサフ」

JICA岐阜デスクの土屋です。JICAでは開発途上国へボランティアを派遣しており、私は中東のヨルダンで2年間活動しました。写真はヨルダン料理のマンサフで、イベントに参加した際にごちそうしていただいたものです。主に、お米、羊肉、ヨーグルトのソースを煮込んだ料理で、どんな味なのか想像がつきにくいと思いますし、私も上手く伝えられませんが、出汁のうまみがあり、とても美味しかったです!! 地元の方が大皿から手づかみで食べる姿を見てビックリしましたが、同じ皿から同じものを一緒に食べる一体感や、変わらない伝統・風習を感じることができる貴重な体験でした。日本でも手づかみで食べるものに気付いたり(トースト、フライドポテト、スナック菓子、おにぎり、お寿司など)、日本・岐阜の伝統料理ってなんだろうと、自国を深く理解するきっかけにもなりました。

JICA海外協力隊を、春と秋に募集しています。ぜひLINE登録からアクセスしてください。

JICA岐阜デスク 土屋増信 TEL:058-263-8069 E-mail:jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp



広告



いちき皮膚科

・診療時間
月・火・木・金・土: 9:00~12:00
月・火・木・金: 15:30~18:30
・休診日
土曜午後、水曜、日曜、祝日

〒502-0913
岐阜市東島3-9-13
☎ 058-231-1237



岐阜県国際交流センターの情報は、SNS・ウェブサイトをご覧ください!



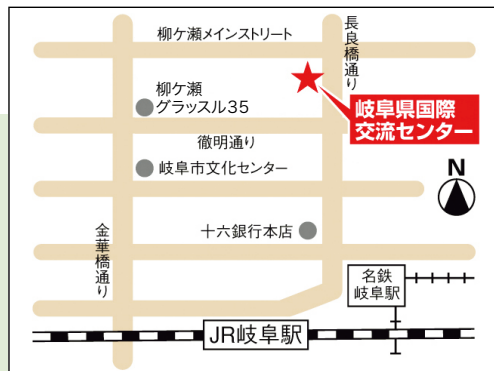
Instagram



Facebook



ウェブサイト



発行・編集

公益財団法人 岐阜県国際交流センター(GIC)

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2階

TEL 058-214-7700 FAX 058-263-8067

E-mail gic@gic.or.jp URL https://www.gic.or.jp

開館時間 9:30~18:00(日~金曜日) 休館 土曜日、祝日、年末年始

対応可能言語 英語、中国語、ポルトガル語、フィリピン語、ベトナム語 ほか